

●開催日時：2024年9月28日 10:00～12:00

●参加者：出席者 15名

青山区自治会（2名出席） 青山台自治会（出席） 柴崎区自治会（出席）柴崎台自治会（出席）

南青山自治会（2名出席） 我孫子第三小学校（出席） 天王台北口商店会（欠席）

天王台地区社会福祉協議会（欠席） 市民協働推進課（出席） 地域会議事務局（6名出席）

## 1. 事務局から

### <天王台駅北口前の美化計画について>

- ・ 前回、我孫子市の道路アダプト・プログラム「A-RaP」への参加の話をしたが、団体名を考える必要がある。また、登録にあたり、自治会長の5名にお名前をお借りしたが、会長は忙しいこともあるので、実行委員会の設置が必要だと考えている。具体的な活動計画（案）としては、以下の5つを想定。（事務局）
  1. ロータリーにある植え込みの整備
  2. 北口から交番の間の植栽の管理
  3. 清掃活動
  4. 参加者の募集：名簿が必要 何かあった時の保険を受けるため
  5. 必要な設備・備品の確保
- ・ 当初は、ツツジの対処や、街路樹の周りの植栽の撤去などを想定している。そのうえで、週1～2回程度、植栽の植え込み、維持管理をしていく予定である。参加者の募集に当たっては、何かあった際には保険を受けるため、参加者の名簿が必要となる。（事務局）
- ・ 実行委員会の設置について、各自治会から活動メンバーを出す必要があるのか。（青山台自治会）  
⇒現段階では、どうやって人を集めるのかは検討中だが、自治会に協力要請をすることも考えている。ただし、強制参加ではなく、任意参加としたい。（事務局）  
⇒協力要請としては、募集チラシの配布などを依頼することになると思われる。（事務局）
- ・ 水やりや花植えなどを協力してくれる人は集まりそうだが、水道をどう引っ張ってくるのかなど、市と調整する人はどうするのか。組織運営をする人が必要である。（柴崎台自治会）  
⇒現在、水道については、すでに市とかけあっている。また、なるべく負荷がかからないように、太陽光のパネルとタンクを使って、水を撒く仕組みも試している。20リットルのタンクで5日程度の水は持つのだが、費用として3～4千円かかるので検討が必要。その他に、水で膨らむ土壌の活用も試している。（事務局）

⇒集まったメンバーで、組織運営を考えることになるのか。(事務局)

⇒実行委員会の立ち上がりまでと、実行委員会の設置後の体制を明確にしたい。(事務局)

⇒他の「A-RaP」は、まち協が主体でやっていることが多いのだが、実行委員会の立ち上がりまでは、この地域会議の場で進めていきたい。実行委員会の設置後は、地域会議とは別の組織となる想定。天王台駅南口では、20数名の募集があったと聞いている。(事務局)

- ・ 植栽の植え込み、維持管理は、週1〜2回とのことだったが、曜日を指定しないと集まりづらいのでは。(南青山自治会)

⇒平日は仕事があって参加できない人がいたり、雨が降った日は翌日に実施するなど、天候に合わせて臨機応変に対応することが必要になったりするため、あえて曜日を指定せずに募集を進めたい。(事務局)

- ・ 「A-RaP」でかかる費用はどうなるのか。(事務局)

⇒植栽する花や道具などは、市に相談して、無償で提供いただく想定。また、近隣の企業に寄付を集めることも考えられる。(事務局)

## <台風等の水害対策について>

- ・ 先月8/16に台風が発生したが、その際、近隣センターに自主避難所が開設された。自主避難所とは、指定避難所とは異なり、自主的な避難場所を提供するものである。避難所の開設については、市の防災無線、LINE、メールなどによって案内される。

また、天王台駅の北側にも比較的低い地域があり、2、3年前に自動車が沈没するといった浸水被害があった。そのため、市に相談があり、そういった被害が想定される場合には、近隣センターの駐車場を使ってよいことになっている。ただし、駐車場も限りがあるので、避難してきた人が優先だと考えている。(事務局)

- ・ 現状、近隣センターの受け入れとして、自主避難をしてきても、管理人が一人しかいないことも多く、受け入れ体制は整っていない。前回の自主避難者は1名のみだったが、避難場所として、和室を開放した。簡単な対応しかできないものの、具体的なケースが決まっていないので、年末までに市としっかりと話しあいが必要だと考えている。(事務局)

⇒食料の備蓄などはないため、実際には、毛布1枚と場所を提供する程度としかできないと考えている。(事務局)

⇒自主避難所は、近隣センターの運営時間帯のみとなるのか。(事務局)

⇒自主避難所の対応は、管理人および市の職員が対応することになっている。具体的には、午後5時までは管理人が対応し、午後5時以降は市の職員が対応することになる。(事務局)

## 2. 市民協働推進課から

- ・ 先ほど話のあった自主避難所には、土砂災害を想定したものと、風水災害を想定したものの2種類がある。天王台北近隣センターは、後者の風水災害のみが該当となる。自主避難所は、災害の発生に備えて不安がある人が集まることを前提としているので、大多数を想定していない。実際に災害が発生した場合には、指定避難所（三小）に移行されることになる。

災害時の駐車場利用については、他の近隣センターでも同じような問い合わせがあった。ただし、第二駐車場などがなく対応できない近隣センターもあるため、状況を踏まえて検討を進めていく想定。

(市民協働推進課)

⇒自主避難所は、不安解消が目的であり、体育館の床よりは、和室の畳の方が良い。利根川の氾濫などの外水の場合には、対策本部が設置されるが、隣の中央公園と同じく、天王台北近隣センターは、そもそも避難所にはならない認識。(青山区自治会)

⇒このあたりには高台や広い場所がないので、我孫子市には、こういった点から考えていただきたい。特に、高齢者や障害者への対応も含めて。(柴崎台自治会)

### 3. 各団体から

- ・ 市民協働推進課から (2項で紹介)
- ・ 我孫子第三小学校
  - ・ 10/19(土)に、PTA 主催のバザーを開催する。学校だより等に案内を載せるので、ぜひ参加ください。また、10/15(火)に、75 周年記念行事を予定している。午前中は児童のみとなるが、午後 13 時 15 分からは 地域の方も参加が可能となっている。バルーンにメッセージを書くといったイベントを実施する予定。(我孫子第三小学校)
  - ⇒回覧には時間がかかるので、案内チラシがある場合には早めにいただきたい。(南青山自治会)
- ・ 柴崎台自治会
  - ・ ふれあい祭り実行委員の須藤から言付けを預かっており、今年も、数に限りはあるが、スタッフのポロシャツを作成したので、もし自治体で必要があれば、“サイズと数”を教えて欲しいとのことだった。無償ではなく、2000 円で買い取っていただく形となるが、鴨田まで連絡いただきたい。
  - また、当日、イベントの脇でアナウンスをする人が必要だが、1 名欠員がでたため、募集中とのこと。具体的には、読み上げる文面があるので、13-20 時の一部のアナウンスを担当していただくことになる。
  - 自治会としても、ふれあい祭りの準備をしており、射的ゲームなどを実施する予定。また、お祭り後には、例年通り、一斉清掃をする予定。(柴崎台自治会)
  - ・ 柴崎台は、現在、資源回収の整理を地元側で実施し、奨励金を受け取っている。この整理が大変なので市に移管してほしいという意見があった。そこで、地域会議で意見を聞いたら、市に移管しても結構地元側でやることが多くあることが分かったので、現在のままで行くこととした。(柴崎台自治会)
  - ・ 近隣センターだよりに自治会の紹介もあったが、引き続き、自治会間の情報共有を進めていきたい。(柴崎台自治会)
  - ・ 現在、商店会のイルミネーションは柴崎台自治会が引き継いだ形となっているが、老朽化により、イルミネーションが点かなくなってきたので、買い替えを検討中。(柴崎台自治会)
- ・ 青山台自治会

- ・ 現在、高齢者の避難方法と、ゴミ問題の2つが大きな問題になっている。また、安否カードを配布して、避難の有無を玄関に掲示するといった対策も実施した。(青山台自治会)
- ・ 南青山自治会
  - ・ 水害に関しては、過去に、遊水地に水が入ったのを、2・3回経験している。近年の異常気象を考えると、真剣に考えていかないといけない。また、地域会議のスタート時には、2年続けて防災フェアを実施し、国土交通省利根川河川事務所から広報担当者に来てもらい説明を受けた。(南青山自治会)
  - ・ ふれあい祭りについて、寄付金は、いつ払えばいいのか。また、雨天中止の場合は、寄付金はどうなるのか。また、10月は暗くなるのが早いので実施時間や、トイレ問題などが気になっている。(南青山自治会)
    - ⇒ふれあい祭りについては、地域会議と別組織である。トイレについては、近隣センター、中央公園だけでなく、セブンイレブンやホンダでも貸出しがあったかと思う。(事務局)
    - ⇒確実な情報については、実行委員の鴨田さんに確認いただきたい。(柴崎台自治会)
- ・ 柴崎区自治会
  - ・ 伝統行事を通して、地域とつながりをもちたいと考えている。特に、直会（なおりい）という、皆で共に食する行事があるのだが、新しい住民の方にも参加していただきたい。(柴崎区自治会)
- ・ 青山区自治会
  - ・ これまで参加できていなかったが、今後は参加していく。ちなみに、まち協と地域会議の違いはどうなっているのか。(青山区自治会)
    - ⇒地域会議の事務局を、まち協の役員が担当しているため、関連性はあるものの、天王台北地区では別物と考えている。(事務局)

#### 4. その他

- ・ まちづくり協議会は、現状、5自治会の連合体であり、自治会を頼りに形成されている。そのため、地域の活動に積極的に取り組んでいく必要があると考えている。次回の地域会議は、第4土曜日が祭日のため、11/30(土)となるが、その日の午後5時から、5自治会会長会議をやりたいので、ぜひご参加いただきたい。案内はこれから出す予定。(事務局)

次回、地域会議 令和6年11月30日(土) 10:00～ 2階 大会議室